

「対話を通じた鑑賞」プログラム ファシリテーター

●シンビズムワーキンググループ [活動拠点：県内各地]

団体概要

2016年度より県内美術館等の学芸員が所属を超えて交流し、同じ立場で協議しながら信州ゆかりの作家を選定、これまでに第1回～第6回展まで計21会場にて全85名の作家を紹介してきました。（現在51名）

メンバーのなかで、対話を通じた鑑賞のファシリテーターとして実績のある学芸員（希望校近隣）を派遣します。

ホームページ：<https://shinbism.jp>

※対話鑑賞監修：エデュケーショナルアドバイザー 武蔵野美術大学 三澤一実教授



阿部知事とシンビズムメンバー
撮影：田中慶

プログラム例

作品（Web画像でも可）を見ながらファシリテーターのもとでクラスの生徒が思ったことを話します。「みて」「かんじて」「話す」、そして他人の意見を「聞いて」、「考える」ことで新たな見方を体験し、他者とのコミュニケーションの楽しさを体感します。

【推奨動画】シンビズム対話鑑賞紹介動画：<https://www.culture.nagano.jp/artists/8950/>

朝鑑賞実践編：<https://youtu.be/-THPAoQePc4>

朝鑑賞理論編：<https://youtu.be/MprhvYJuvGw>



- 1 ひとりひとりが作品を見る
- 2 ファシリテーターの案内で思ったことを話す
作品を「みて」・「かんじて」・「話す」・「考える」
（他者の考えに触れ、自分の見方にも変化が起こる体験→メタ認知能力の向上）



- 3 ふりかえり

ワークショップを体験して感じたことを言語化して共有 ※朝鑑賞では、3は行いません

